



声のラン

声①

私には小学生の子どもがいます。子どもの登下校時の安全を見守る「千歳っ子見守り隊」の皆さんにはとても感謝しています。活動を市民に紹介することで、活動がより活発になれば、地域の安全が守られることにつながると思います。「千歳っ子見守り隊」の活動状況を紹介してください。

答①

平成18年に活動を開始した「千歳っ子見守り隊」。今年で4年目となり、緑のベストと帽子を着用した隊員は、通学の子どもには、おなじみの存在となっています。

現在、町内会やPTA、老人クラブの方など約1,070人が、ボランティア隊員として見守り活動を行っています。

「千歳っ子見守り隊」の活動は、地域全体で登下校時の子どもを見守ることで、犯罪の防止と安全で安心な通学路の確保を目的としています。

通学路での声かけなどの活動により、不審者の出没情報は、活動を開始する以前と比べて減少しています。

また、通学する子どもと隊員があいさつを交わしたり、会話をしたりするなど、交流が深まっています。安全対策のほか、心豊かな青少年を育む面でも良い効果が表れています。

さらに、学校と町内会、PTAと町内会の連携が強まる

「千歳っ子見守り隊」の活動状況を紹介します？

とともに、学校の行事に隊員が参加するなど、地域内のさまざまな交流につながっています。

「千歳っ子見守り隊」の活動は、今後も続けていく必要があります。

隊員の募集は、各小学校で随時行っています。活動時間は、小学校の登下校時で隊員の都合にあつた時間としています。活動に参加していただける方は、ぜひお問い合わせください。子どもの安全確保にご協力をお願いします。



緑のベストと帽子が目印。通学する子どもたちの安全を見守っています。

《40歳代女性》

【ワンポイントメモ】

「千歳っ子見守り隊」のほか、毎月2回青少年指導員が**地区内育成ふれあい活動**を行っています。101人の指導員が小学校の下校時に学校前で声かけをしたり、放課後に校内でいっしょに遊んだりするなど、対話やふれあいをとおして、心豊かな子どもを育む活動を行っています。

案内

「声のラン」では、おもに「市長への手紙・ポスト」や「広報広聴モニター」の声と、その答えをご紹介します。そのほか皆さんからの一般的な質問などもご紹介しますので、普段から疑問に思っていることなどを、お手紙などでお寄せください。ただし、ほかの市民にも参考になる内容を採用させていただくため、個人的なことなどすべてを掲載することはできません。また、質問の内容を確認する必要上、お手紙には必ず連絡先と名前をご記入ください。【〒066-8636 / 千歳市東雲町2丁目34 / 千歳市企画部広報広聴課 宛】

青少年課青少年指導係
☎(24)0862